

平成21年度

《第1回特別奨学生試験》

# 国語

時間40分，100点満点

## 受験上の注意

1. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入してください。
2. 解答は、解答用紙の所定のところに記入してください。記入方法を誤ると得点になりません。
3. 試験終了の合図とともに、解答用紙・問題用紙とも提出してください。

郁文館中学校

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

「我が社は環境に配慮しています」という広告コピーを見て、学生が「この会社は売り上げを増やしたいと思っ  
ています」というレポートを書いてきました。「環境にやさしい」という会社を、どうも疑わしいと思う人が少  
ずつ増えてきています。日本人が環境問題について慣れてきたこともあり、環境にいいから」とこまかされて損をしたり、  
商売で苦しんでいる人も増えてきました。たとえば、「屋根に太陽電池パネルをつけると、電気代がほとんどい  
らなくなる」とすすめられてみてみただけで、払ったお金に見合うほど電気代は安くならないとか、「水素が将来、有望な  
エネルギー源となる」と聞いて投資したものの、自然界には普通に存在しない燃料だとあとから聞かされ、大きな損失  
を受けた、という被害者が出てきています。こんなことが起こるのはメディアにも責任があるでしょう。たとえば、読  
者は高額の新聞代を月々払っているわけですから、新聞社は、読者のために正しく事実を伝えなければならぬのは当  
然です。ところが、新聞が読者に「選挙に行きましょう」と呼びかけることでもわかるように、読者より上の立場から  
指導しようとしています。本来、新聞は「投票率が下がると社会はどうなるか」という「事実」を伝え、読者が「投票に行  
くかどうかを決める」というのが、読者と新聞の正しい関係ですが、それがすっかり逆になっていきます。環境問題でも  
同じで、マスメディアが「環境キャンペーン」なるものを張って、読者を指導します。実際は地盤沈下で海に浸食され  
ているツバルという島国を、「温暖化による海面上昇で沈んだ」という事実と反する情報を流し、読者にある考えを植  
えつけるようなことがよい例です。この本は、これまで続けてきた「ウソの環境生活」をこの辺でやめよう、これから  
は後ろめたさのない生活、表面上は環境にいいといっているけれども、実は自分が得をすればいいのだという「環境」  
から、本当に日本の将来のため、子孫のためになる「環境」に切り替える時期ではないかと思ひ、執筆しました。多く  
の人が「環境を大切にしたい」と願っています。しかしながら、年賀状に「40%リサイクル紙」と書いてあるのを信  
じていたら、ほとんどリサイクル紙が入っていないかったり、毎日こまめに洗って分別して出しているプラスチックの多  
くが、実は消却されていたりと、年金問題や食品偽装と同じように、環境についても偽装が増えて、せっかくの努力が  
無駄になっているのではないかと思うと、心配になってしまいます。

☆作問の都合上、改編・省略した箇所があります。

(武田邦彦『偽善エコロジー』より)

語注

- ・ 広告コピー：広告の文案
- ・ マスメディア：いわゆるマスコミ。新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・映画などの多くの人々への伝達手段。
- ・ キャンペーン：社会的な運動。特に、世論をもちたてるための組織的な宣伝活動。
- ・ ツバル：南太平洋エリス諸島にある島国。海抜が最大5メートルと低く、水没の危険にさらされている。
- ・ 40%リサイクル紙：原料に古紙を利用した再生紙で古紙の割合が4割のもの。
- ・ 年金問題：年金(国民年金・厚生年金など)に関する諸問題。年金未納や年金記録の消失や改ざんのこと。

## 《設問》

問一 この文章は、「まえがき」の一部です。この文章を参考に後の語群の語句をすべて用いて、きみが考える「これか  
らの環境保護」について「今までの環境保護」と対比して八〇字程度で述べなさい。(ただし、指定された語句はど  
ういう順序で用いてもかまわないものとする)

・ 事実 ・ 環境 ・ ウソの環境生活 ・ 偽装 ・ 将来 ・ マスメディア

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

「こまでのお話

冬眠から目覚めたヤマネくんは、春のにおいをかきながら元気に森に飛び出しました。しばらくすると、ブーン、ブーンというにぎやかな音が聞こえてきました。近づいてみると、たいへんです。ミツバチさんの家が雪どけの水でゆるんだがけから落ちそうになっていました。ヤマネくんは、あわてて助けを呼びに行きました。

「みつかっちゃった」

いわかげから モグラくん トンビくん ウサギさん アナグマくん キツネさんがおをだしました。

「ヤマネくんが いそがしそうに はしりまわっているからなにかと おもって ついてきたんだ。なにやってるの？」

「これだけ たくさん あつまれば なんとかなるかもしれない」

そう おもった ヤマネくんは みんなを つれて がけに もどってきました。

「うわあ こりや たいへんだ」

みんなも あわてて かけよりました。

みんなで いっしょに つたの ロープで ミツバチさんの

いえを ひっぱりました。

「よいこら えいこら どっこいしょ！」

ところが かれきの いえは びくとも うごきません

「ぼくらは だめだ」

みんなは いました。

「やっぱり クマさんを よんでくる！」

ヤマネくんは くまさんの いえに はしっていききました。

クマさんは まだ まるくなって ねています。

「クマさん おきて！」

ヤマネくんは さげびました。

ところが クマさんは ゆめのなか。

「むにやむにやむにや……ヤマネくん ぼく もう たべ

られないよ……」

クマさんが ねごとを 知っているよと そとから ことり

たちの さえずりが きこえてきました。

「この はる さいしよの だいじけん！ ミツバチさん

が あぶないの！ クマさんだけが しらないよ！」

ほかの みんなも かけつけて クマさんを よんでいま

す。

「ミツバチさんを たすけてあげて！ ミツバチさんが

たいへん！ ミツバチさんが…… ミツバチさん…… ミ

ツバチ……！ ミツ……！」

すると なぜか クマさんの おなかを みんなに へん

じをするように おおきな おとを たてました。

「ぐーっ！」

みんな びっくりして クマさんを みつめました。

クマさんは むっくり おきあがると したなめずりをし

て いました。

「ハチミツが たくさん？ ぼく ながいこと ねむっ

てて おなか ペこペこ」

みんなは いました。

「ハチミツが たくさんじゃなくて ミツバチさんが

たいへんなの！ いえが がけのしたに おっこちそう

なんだよ！」

クマさんは びっくりして いました。

「ミツバチさんの いえが こわれたら ハチミツが

たべられなくなっちゃうよ！」

クマさんは ぞうきばやしのはずれまで いちもくさん

に かけつけました。

「あぶない あぶない」

そう いうと クマさんは かるがると ミツバチさん

の いえを もちあげました。

「さすが クマさん！」

みんなは めをまるくして いました。

ぞうきばやしを ぬけると ひらけた ゆきのはらに

つきました。

「ここなら がけくずれの しんばいはないね」

みんなは そういいながら あなを ほって かれきの

いえを しっかり じめんに たてました。

「ハチミツ いっぱい あつめてね」

クマさんが いました。

「このあたり なんにもないけど ハチミツ あつまる

のかな？」

キツネさんが いました。

「だいじようぶ。ゆきのしたには あまい においが

かくれてる。もうすぐ もうすぐ……」

ミツバチさんは こたえました。

それから まいにち すこしずつ あたたかくなりま

した。やがて ゆきのはらは……

あたりいちめん れんげの はなばたけになりました。

「なあるほど！ ミツバチさんの いえに ぴったりの

にわだね」

ミツバチさんは あつめた ハチミツを もりの みんな

なに プレゼントしました。

クマさんと ヤマネくんは ハチミツを なめて いい

ました。

「はるの あじがするね」

（ふくざわゆみこ『めざめのもりのいちだいじ』より）

☆作問の都合上、省略・改編した箇所があります。

※語注 したなめずり……くちびるを舌でなめること。獲物を待ちかまえる様子。

## 《設問》

問一 この文章から読み取れる「ヤマネくん」の性格を三十五字以内で簡潔に書きなさい。

問二 線部1「ほかのみんなもかけつけてクマさんをよんでいます」とありますが、このときのことりたちやもりの仲間たちの気持ちを三十字程度で具体的に説明しなさい。

問三 線部2「クマさんはぞうきばやしのはずれまでいちもくさんにかけつけました」とありますが、クマさんはなぜ「いちもくさんにかけつけ」たのですか。このときのクマさんの気持ちを三十字程度で具体的に説明しなさい。

問四 線部3「みんなはめをまるくしていいました」とありますが、このときのみんなの気持ちを三十字程度で具体的に説明しなさい。

問五 線部4「ミツバチさんはあつめたハチミツをもりのみんなにプレゼントしました」とありますが、みんなにハチミツをプレゼントしたミツバチさんの気持ちを三十字程度で具体的に説明しなさい。

※すべての問の制限字数には句読点・符号を含むものとする。